

報道関係各位

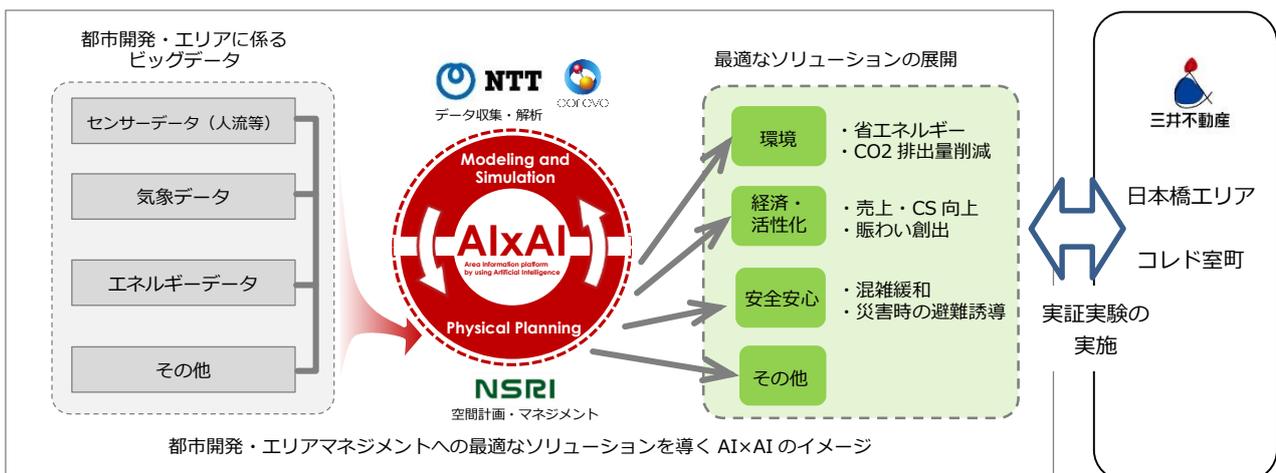
株式会社日建設計総合研究所
日本電信電話株式会社
三井不動産株式会社

日本橋室町地区において都市ビッグデータとAIの活用をめざした 共同実験を開始

～都市開発・エリアの価値を高める情報活用プラットフォーム「AI×AI（仮称）」の活用～

株式会社日建設計総合研究所（本社:東京都千代田区、代表取締役所長:野原文男、以下、NSRI）と日本電信電話株式会社（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鶴浦博夫、以下、NTT）は、都市の様々なビッグデータ（情報）をエリアマネジメントに活かすため、AI（人工知能）を利用したエリア情報活用プラットフォーム「AI×AI（アイアイ）（仮称）」※1の共同研究を行っております。

この度、このプラットフォームの実現に向け、三井不動産株式会社（本社:東京都中央区、代表取締役社長:菰田正信、以下、三井不動産）との協働により実証実験に向けた事前調査を行い、複数の分野におけるエリアマネジメント最適化の可能性を確認しました。今後、日本橋室町地区において、このプラットフォームを実際の計画・マネジメントに活かすための実証実験を行う予定です。



1. 都市空間計画とデータ解析技術の融合による最適なソリューションの提供

今後、国際的な都市間競争の激化が予測される中で、都市の魅力、付加価値を向上させるために、ビッグデータを活用した都市のスマート化は欠かせない要素となっています。

「AI×AI（仮称）」は、NSRIのこれまでの都市開発に係る計画・マネジメントに係る知見と、NTTのデータ収集・解析に係る知見を組み合わせることにより、都市開発・エリアのマネジメントに対して最適なソリューションを提供することをめざしています。

具体的には、Human-centered（ヒト中心）というコンセプトに基づき、ユーザーにとっての快適さや使いやすさという視点を重視しつつ、実際の都市開発・エリアの計画、維持管理に関する活動を効率化するようなアルゴリズムを構築します。収集された様々なビッグデータ（IoTデータ、エネルギー関連データ等）をNTTグループのAI技術「corevo®」※2を用いて処理し、コミュニティ、交通、エネルギーなどの課題に応じて、最適なソリューションを導くことを目的としています。

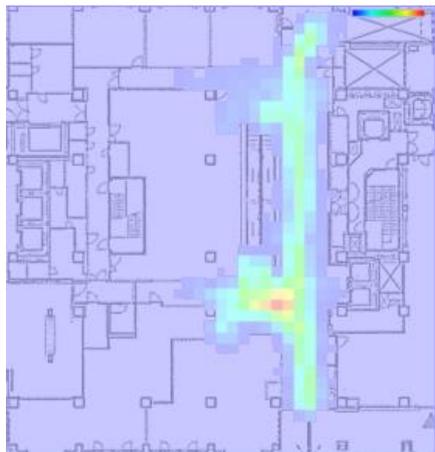
この「AI×AI（仮称）」は、日本橋室町地区以外のエリアや、空港やターミナル駅、スタジアム等の大規模施設への展開も可能と考えられます。NSRI、NTTは、様々なエリア・施設への展開をめざして共同研究を行っています。

2. 人流把握に基づくエリアマネジメントの最適化

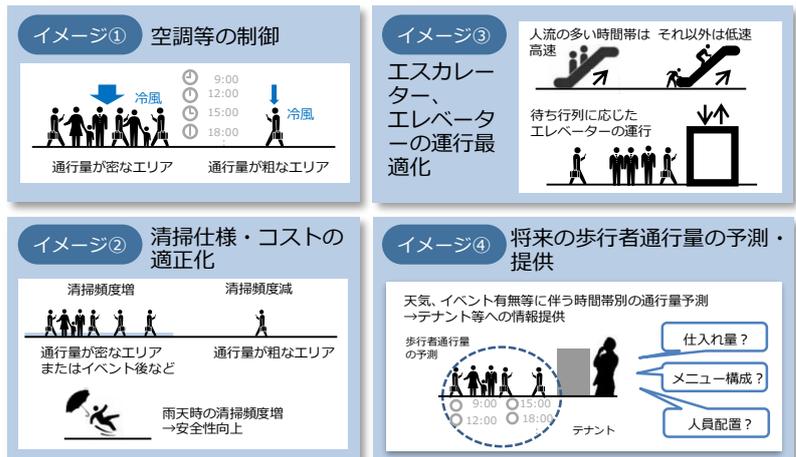
都市に関するビッグデータには様々な種類がありますが、NSRI および NTT は、そのなかでも特に、商業施設など不特定多数の人々が集まる場における人の流れに着目しています。ライブに把握された人流データと他のデータを組み合わせることにより、様々なソリューションが得られます。例えば、人流の粗密に応じた空調制御やエレベーター等の運行の最適化、清掃仕様の最適化、また、イベントの魅力向上による賑わいの形成などが挙げられ、これらを活用することが、エリアマネジメントの最適化に繋がります。

これらの効果を実証するためには、実際のフィールドにおける実証実験が効果的です。NSRI、NTT、三井不動産の3社は、今後展開予定の実証実験の事前調査として、オフィス・住宅・商業施設等、多様な都市機能が集積し、三井不動産が官民地元と共同で都心型スマートシティのモデルプロジェクトを推進する日本橋エリアのコレド室町1において人流を測定し、ビルのマネジメントデータと組み合わせた分析を行いました。この結果、人流の時間・場所ごとの粗密に基づき、例えば、空調を制御することで、来訪者が快適に感じられる体感温度レベルを維持しつつ、空調に使用するエネルギー消費量を大幅に削減する可能性を確認するなど、複数のエリアマネジメントの最適化のイメージを得ることができました。

NSRI、NTT、三井不動産の3社は、事前調査によって得られたデータを基に、今後コレド室町1以外の日本橋エリアにも調査対象を広げ、このエリア情報活用プラットフォームを実際の計画・マネジメントに活かすための実証実験に取り組んでいく予定です。



「コレド室町1」における人流把握結果
(1mメッシュで時間あたり人密度を表現)



人流把握結果に基づくエリアマネジメントの最適化のイメージ

※1 AI (Area Information platform) by using AI (Artificial Intelligence)

※2 「corevo®」は日本電信電話株式会社の商標です。